

総会報告

北村亮太会長、鳥越隆副会長が新たに就任！

9月1日午後3時半より、鹿児島アリーナ会議室にて役員総会を開催した。

定例の議題に加え、新たな役員として、新会長に北村亮太氏(日本電信電話(株)取締役)、新副会長に鳥越隆氏(東日本電信電話(株)取締役)をお迎えすることが決せられた。これまでご尽力いただいた島田明会長は名誉顧問に、關雅夫副会長は顧問にご就任頂き、あいにくご欠席されたご両名様の退任メッセージを賴政事務局長が代読し、参会者一同、拍手をもって感謝の意を表した。

新たな検討事案として、今後の団体戦の競技方法について、見直しも視野に入れながら継続課題としていくこととした。

【議事内容】

(1)平成29年度連盟活動報告 (2)平成29年度会計報告、会計監査報告

(3)平成30年度役員選出(敬称略)

新任 会長:北村亮太 副会長:鳥越隆 名誉顧問:島田明 顧問:關雅夫
退任 常任理事(事務局長):佐伯秀男 顧問:佐々木崇 相談役:山田達之

(4)次年度活動計画・第54回全国大会実施概要・概算予算案

(5)平成30年度予算案および年会費 (6)前回大会剰余金の処分

(7)第54回以降の大会主管

次回主管:東京支部 時期:2019年8月(予定) 場所:東京都(予定)

以後の持ち回り予定:55回北陸(ドコモ)、56回中央、57回大会東海

(8)団体競技について

(9)各支部の活動状況報告

(10)名誉顧問、顧問、相談役の近況

訃報 山田達之 相談役(2017年10月17日逝去)

【島田明会長 退任挨拶(抜粋)】

第49回の札幌大会より会長を仰せつかり、在任4年間にわたり皆様には大変お世話になり誠にありがとうございました。学生時代以来久しぶりに弓道に触れることになり、私にとってはとても楽しくかつ貴重な時間となりました。

記念すべき第50回大会に弓道連盟会長として出席させて頂いたことは大変光栄なことでありました。小笠原流、全弓連柴田会長、当連盟3教士の演武をはじめ記念大会に相応しく素晴らしい会となったことが、昨日のこのように思い出されます。

会員の皆様におかれましては、弓道の伝統ある精神と技を磨かれることを通じて、更なるご自身の成長につながって頂き、そのことが仕事や地域での有為ある活動など、社会に役立つさまざまな活動につながりますようお願い申し上げます。

新たな北村会長のもとNTTグループ弓道連盟の益々の発展を祈念して、会長としての4年間の締めくくりとさせて頂きます。

【關雅夫副会長 退任挨拶(抜粋)】

この度、人事異動に伴い、涙ながら副会長職を鳥越氏にお願いすることとなりました。また皆さんの勇姿を拝見できる日を楽しみにしつつ、今後は顧問として、NTTグループの一人でも多くの人に弓道の素晴らしさを伝えていければと考えておりますので、引き続き宜しくお願いいたします。



北村 新会長

鳥越 新副会長

活動状況

昇段・昇格 ◆教士:樋口久(関東) ◆錬士:樋口静(関東)、三宅(四国)、渡邊(九州)
◆五段:阿部智(JIP) ◆四段:榎本(関西) ◆参段:阪口(関西)、渥美、青山(データ)
◆初段:宮崎(関西)、松隈、園田、富永(九州)、増田(ドコモ) ◆1級:江戸(九州)

支部活動

【中央支部】 三多摩勤労者大会、三多摩リーグ戦参加。東京三地連の例会・個人選手権参加。会員獲得活動として、研究所サークルHPや組合新聞に紹介記事掲載。新入部員2名(松橋、應治)。

【東京支部】 全日本実業団大会で事業所対抗優勝、女子の部準優勝。全日本勤労者選手権大会ベスト8。会員獲得活動として、社内HPで東京エリアサークル新メンバー募集、社外HPによる随時部員募集の実施。1名見学依頼あり。

【関東支部】 千葉県実業団大会で団体2位、千葉県勤労者大会で団体2位。会員獲得活動は、関東支部内の各地域支部にて、弓道経験者情報の収集を行っているが、具体的なアプローチには至っていない状況。

【信越支部】 支部としての活動はNTTG大会のみ。個人としては、細川、西村が地域の各大会で上位入賞。現役社員の会員が枯渇する現状。

【東海支部】 犬山、春日井、湖西、四日市、鈴鹿、各務原各市民大会や尾張、三重、静岡のエリア大会、県大会等東海4県内にて開催される地域の大会に積極的に参加。昨年の秋元(H28入社)に続き、杉浦(H29入社)が入部。

【北陸支部】 支部の活動は個人的なもののみ。正札がねんりんピック富山2018の石川県派遣選手に決定。小川本部長に支部長になって頂いたことで社内誌などに取り上げられ、現役メンバーの増につながることに期待。

【関西支部】 大阪府実業団連盟に所属し、年数回の実業団大会等に参加。会員拡大に向けた取組として、九州支部主導の西日本広報誌「WEST-Now WEB 西広場 輝きNOW」への記事寄稿。問合せ4件受け、複数名入部。

【四国支部】 愛媛県国体運営役員(村上敏、村上範、村上康)、徳島県弓道連盟役員(天野、福本)、徳島県連盟主催の試合及び講習会への参加(福本、高原、三宅、天野)など。

【九州支部】 支部としての活動は全国大会のメンバー選抜を兼ねた九州大会の開催と合同練習会。広報活動としては、社内交流Webサイトへのイベント投稿、グループ社内TV ニュース内での活動紹介を実施。新入会員が6名加入。

【北海道支部】 札幌地区職域対抗弓道大会に参加。個人で地域の各種大会に参加。岩瀬が全日本選手権北海道代表。親がNTT社員等の弓道家に声かけしているが、地方の大会参加は厳しい。新入社員もほぼなく、現役入部も厳しい。

【ドコモ支部】 神奈川県層別大会、全日本実業団大会、全日本勤労者大会への参加。石川県で強化合宿実施。新規会員獲得施策としては、人づてによる募集活動を継続実施中。社内誌への記事掲載、ホームページ立ち上げを検討中。

【データ支部】 月1回の月例射会と随時の研修会、合宿(東京支部と合同)。会員拡大に向けた取組として、経験者掘り起こしの練習会企画、社内公認サークル説明会参加、社員向け小笠原流・流鏑馬体験会イベント等。正会員10名増。

【JIP支部】 月例練習会、合宿開催。全日本実業団大会に出場。新規会員獲得に向けた取り組みとして、親睦団体のクラブ説明会で紹介、社員採用時に弓道部のPRを人事部担当者に依頼、データG流鏑馬体験会を社内掲示など。

NTTグループ 弓道

第六十七号

平成30年10月1日発行
東京都調布市入間町1-44
NTTグループ弓道連盟
発行責任者 賴政秀幸
編集責任者 金子哲也
撮影 窪田圭司

次回大会:
第54回NTTグループ全国弓道大会
主 管:東京支部
開催日:2019年8月(予定)
開催地:東京都(予定)

◆◇第53回NTTグループ全国弓道大会、鹿児島アリーナ弓道場にて開催◇◆

明治維新から150年にあたる今年は、主管・九州支部の粋な計らいにより、現在放映中の大河ドラマ『西郷どん』の舞台でもある薩摩・島津家のお膝元・鹿児島県にて本大会初開催となった。9月1日、完全屋内である鹿児島アリーナ弓道場にて開会式が行われ、前年優勝データ支部渥美宝選手が、これまでの諸先輩による創意工夫と努力の結果を若い世代で引き継いでいく決意を選手代表として高らかに宣誓した。

前夜祭となる懇親会では、恒例の決意表明のほか、応援に駆けつけてくださった高島宏一顧問や地元鹿児島支店長榊原寿治様のご挨拶を交えながら親睦を深め、特産の芋焼酎、中でも世に“3M”と称される上級品や、郷土料理を堪能した。

翌大会本番は、射手 渡邊敏郎・錬士五段(介添 白沢孝洋・本田誠一)による主管支部代表の矢渡の後、大会が幕を開けた。団体戦は、前年の決勝戦で対戦したデータ支部と関東支部が第1回戦で激突、関東支部が雪辱を果たすも、続く第2回戦で地元・九州支部に惜敗し涙を飲む。その九州は続く準決勝も勝ちあがり決勝に進出する一方、団体戦優勝最多回数を誇る東京支部が圧倒的な強さで決勝の舞台に進む。決勝は、前半で大きくリードした東京支部に軍配があがり、通算優勝回数を16回に伸ばした。

つづく個人戦優勝は、一部は賴政選手(3年連続)、二部は林選手とデータ支部から輩出し、三部は過去7回の個人部門優勝を誇る野中選手(関西支部)が最多優勝回数を更新する。各部の個人優勝者同士で射詰めで争う個人総合優勝決定戦では、林選手は2回目で失中し、前回覇者の賴政選手と野中選手の一騎打ちとなる。両名射詰4回を連中し会場内に感嘆の声がある。大会規定により遠近競射にて雌雄を決すこととなり、的心を射抜いた野中選手が個人総合優勝を初獲得した。

大会結果

団体戦

【1回戦】13支部によるトーナメント戦が、関西・北陸・東京の3支部のシードで開始された。

<第1試合:JIP6-九州9>今大会主管の九州支部が終始JIP支部にリードして2回戦に駒を進めた。

<第2試合:データ8-関東9>昨年大会の決勝カードが、1回戦で見られることとなった。関東支部が昨年の決勝戦の借りを返しデータ支部を僅差で寄り切った。

<第3試合:信越5-ドコモ6>双方的中が伸び悩む中、ドコモ支部が競り勝った。

<第4試合:東海6-中央5>3射目までで同中となったが、4射目を2名が的中させた東海が勝利した。

<第5試合:北海道6-2-四国6-3>北海道支部・岩瀬選手の皆中があったものの、今大会最初の同中競射にもつれ、四国支部が勝利した。

【2回戦】

<第1試合:九州13-関東11>五番をみごとに矢渡を披露した渡邊選手に交代して臨んだ九州支部は3射目を全員の中させて計13中、関東支部は堀部選手の皆中があったものの計11中に留まりあと一歩及ばず、九州支部が勝利した。

<第2試合:ドコモ6-2-関西6-1>シードの関西支部がドコモ支部と対戦し同中競射までもつれ込んだが、2名が的中したドコモ支部が勝利した。

<第3試合:東海11-北陸4>前半に大差をつけた東海支部がOB・OGの諸先輩たちで編成された北陸支部に快勝した。

<第4試合:四国7-東京14>東京支部が安定した的中を見せ、四国支部にダブルスコアで勝利した。

【準決勝】

<第1試合:九州10-ドコモ6>小田選手の皆中などもあり九州支部が堂々勝利、**ドコモ支部の3位**が決定した。

<第2試合:東海5-東京13>2戦の疲れからか的中が伸びない東海支部に対し、2回戦に続いて安定した的中を続けた東京支部が決勝に進出、**東海支部の3位**が決定した。

【決勝】

<九州8-東京15>過去10回優勝の古豪支部と歴代最多優勝回数を誇る最強支部との一騎打ちとなり、第50回記念大会団体戦決勝カードの再現となる。結果は、東京支部・榊泉選手の皆中等により**東京支部が貫禄の勝利**を収め、最多優勝回数を16回に伸ばした。平成4年以後の優勝の期待がかかった**地元・九州支部であったが惜しくも準優勝**となった。



団体戦 優勝 東京支部

御礼

本大会の開催にあたり、(公財)全日本弓道連盟様、鹿児島県弓道連盟様およびNTTグループ内各社様(持株、東、西)からご支援を頂きました。また、大会期間中、地元鹿児島支店 榊原寿治支店長、肝付敏光部長に多大なご支援をいただきました。

皆様のご厚情に感謝申し上げます



団体戦 準優勝 九州支部

団体戦 第三位 ドコモ支部

団体戦 第三位 東海支部

大会結果 個人戦

【一部】参段以下出場者41名

優勝	頼政 秀幸(データ)	6中	〇〇〇××〇〇〇	
準優勝	牧野 雄一(東海)	5中	××〇〇〇〇×〇	遠近
第三位	青山 美奈(データ)	5中	××〇×〇〇〇〇	遠近
第四位	泉田 博範(データ)	5中	〇〇×〇〇××〇	遠近
第五位	成松 宏美(東京)	4中	〇××〇×〇〇×	遠近

【二部】四、五段出場者42名

優勝	林 圭(データ)	6中	〇〇〇〇×〇〇×	遠近
準優勝	堺 芳文(九州)	6中	〇×〇〇〇〇〇×	遠近
第三位	遠山 すみれ(東海)	6中	〇〇×〇×〇〇〇	遠近
第四位	國料 重成(九州)	6中	〇〇×〇〇×〇〇	遠近
第五位	河合 亮一(東京)	5中	×〇〇×〇×〇〇	遠近

【三部】称号者出場者31名

優勝	野中 秀治(関西)	7中	〇〇〇〇〇〇×〇	競射
準優勝	渡邊 敏郎(九州)	7中	〇〇〇〇〇〇〇×	競射
第三位	向峰 典子(関東)	6中	〇〇×〇〇〇×〇	遠近
第四位	正札 武治(北陸)	6中	〇〇〇〇〇〇××	遠近
第五位	本橋 秀夫(東京)	6中	〇〇〇〇××〇〇	遠近

【個人総合優勝】

野中 秀治(関西)	射詰	〇〇〇〇	大会規定により
	4中		遠近

特別賞

【優秀選手賞】

河合 亮一(東京)

【敢闘選手賞】

五十川 実千恵(中央) 堀部 雅志(関東)
 福原 絵梨(信越) 上田 雅巳(東海)
 正札 武治(北陸) 中山 勇一(関西)
 天野 忠文(四国) 岩崎 希望(九州)
 岩瀬 泰則(北海道) 熊木 哲子(ドコモ)
 渥美 宝(データ) 丸山 郁夫(JIP)

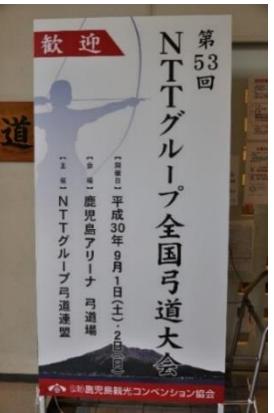
【女子優秀賞】

遠山 すみれ(東海)

【名越賞】

野中 秀治(関西)

大会写真集



大会会長挨拶(北村 新会長) 歓迎挨拶(福永 九州支部長) 選手宣誓(データ支部 渥美選手) 矢渡(九州支部 渡邊錬士)



団体戦 優勝 東京支部



団体戦 準優勝 九州支部



個人戦一部優勝 頼政選手



個人戦二部優勝 林選手



個人戦三部優勝 野中選手



女子優秀賞 遠山選手



個人戦 各部入賞者

個人総合優勝・名越賞